別紙３

**応募記載様式**

技術の名称

|  |  |
| --- | --- |
| 組織名【必須】 |  |
| 連絡先（電話、メールアドレス）【必須】 |  |
| 組織名、氏名の公開・開示の可否（いずれかに〇を付けてください）【必須】 | 可 | 否 | 補足事項があれば本欄に記載してください。 |
| 機密情報の有無（いずれかに〇を付けてください）【必須】 | 有 | 無 | 提案は、機密情報を一切含めずに作成してください。機密情報を含む場合、提案を受け付けることはできません。 |
| 提案の概要  |
| 対象とする技術についての記載 a）～j) |
| a) **開発段階**（研究レベル、実用化検討中、実用化済）**所有権**の可能性（独占権、優先権など） | 研究段階　　実用化検討中　　実用化済いずれかに〇をつけてくださいまた所有権の可能性（独占権、優先権など）について記述ください。 |
| b) 【必須】分離に係る**実験データ**等* 分離処理前の処理水の物理的状態、物量、トリチウム濃度
* 分離処理後の減損側の物理的状態、物量、トリチウム濃度
* 分離処理後の濃縮側の物理的状態、物量、トリチウム濃度
 |  |
| c) 【必須】分離に係る実験データを得た際のトリチウム濃度の**測定方法** |  |
| d) 【必須】**処理能力**現状、何m3/日処理可能なレベルか目安となる50-500m3/日の処理をどのようにして達成し得るか |  |
| e) 【必須】技術の根幹を成す**原理**の概要説明 |  |
| f) 【必須】技術の根幹を成す原理の**信頼性の根拠**なお、補足説明が必要であれば記載のこと | 該当するものに〇をつけてください。1. 当該技術にかかる科学的原理が、学会等で広く認められている。
2. 分離技術の原理について査読付き論文誌に記載れる等、期待される性能が発揮されることを第三者が確認している
3. ①と②双方を満たしている。
 |
| g) 関連する**論文・特許** |  |
| h) 本課題に適用する上で想定される**課題と解決策** |  |
| i) 過去の**実績**（研究論文、特許など、研究開発能力を示せる付加的な情報、等） | 必要に応じて別添していただいて結構です。 |
| j) **組織、開発体制**の概要 | 必要に応じて別添していただいて結構です。 |

以上